

「酪農の輪 プロジェクト」  
酪農家考案の POP『酪農家のつばやき』シリーズ第 3 弾を発信  
暑中お見舞い モーウシあげます！

協同乳業株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：後藤 正純）は、JA 全農と、酪農と牛乳乳製品の魅力を発信する「酪農の輪 プロジェクト」の一環として、夏場に向けたメッセージを含め、酪農家の自作 POP『酪農家のつばやき』の掲示を行います。



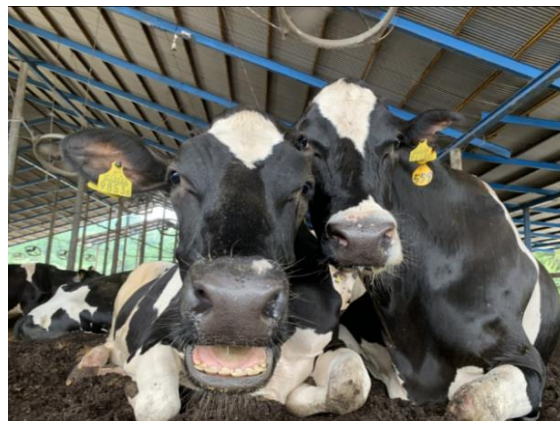
長崎さん考案 POP 牛に涼しさを届ける酪農家の図

「酪農の輪 プロジェクト」は、協同乳業株式会社と JA 全農が共に、牛乳の需要拡大と生産基盤の安定に資することを目指し、お客様・流通各社様と酪農家との相互理解の促進や、牛乳乳製品の魅力を発信する取り組みです。

本プロジェクトで酪農家が作成する POP は、『酪農家のつばやき』シリーズと題して、酪農家の想いや酪農の豆知識について発信します。これを農協牛乳の販売スペースに展示することで、お客様に酪農の現場をより身近に感じてもらい、国産の牛乳・乳製品への愛着を深めて頂きたいと願っております。本シリーズは、昨年 12 月と今年 3 月に続き、今回で第 3 弾となります。

第 3 弾は、千葉県加茂牧場の長崎清子さんが考案した POP を掲示します。長崎さんは、夏について「牛も酪農家も、一番踏ん張っている季節」と話します。牛は暑さが苦手な動物なので、夏になると酪農家は、牛舎内でたくさんの送風機を動かして牛の体を冷やしてあげたり、普段より気を配った栄養管理をするなど、少しでも快適に過ごせるようにと、牛たちをサポートしています。

今回の POP は「夏」と「牛乳」というキーワードから、お客様へ、暑い夏に負けない元気をお届けできるよう「暑中お見舞い／残暑お見舞い モーウシあげます」という内容になりました。近年、日本の夏は 35℃を超える猛暑が珍しくなくなりました。J-milk の報告では「運動」＋「牛乳」の組み合わせが、熱中症予防に効果的であるとされています。季節感とともに、生産者の想いを牛乳売り場にお届けし、お客様の飲用促進を図ります。



長崎さんと牛（ご自身で撮影）

例年、夏に向けて需要が伸びる飲用乳ですが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で落ち込んでいる外食需要などは以前の水準に戻っておらず、酪農乳業界として、今後も牛乳・乳製品の需要拡大が重要です。

夏は牛も酪農家も踏ん張りどころです。お客様に牛乳を飲んでもらうことを通じて、酪農を応援してもらい、また酪農業界を取り巻く環境についても理解してもらえるよう、酪農家の自作 POP を通じて発信していきます。

#### 【会社概要】

会 社 名：協同乳業株式会社

代表取締役：後藤 正純

本社所在地：〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町 17-2

事 業 内 容：1.牛乳、アイス、デザート、乳製品の製造、販売  
2.牛乳をもとにした素材事業など

企 業 URL：<https://www.meito.co.jp/>